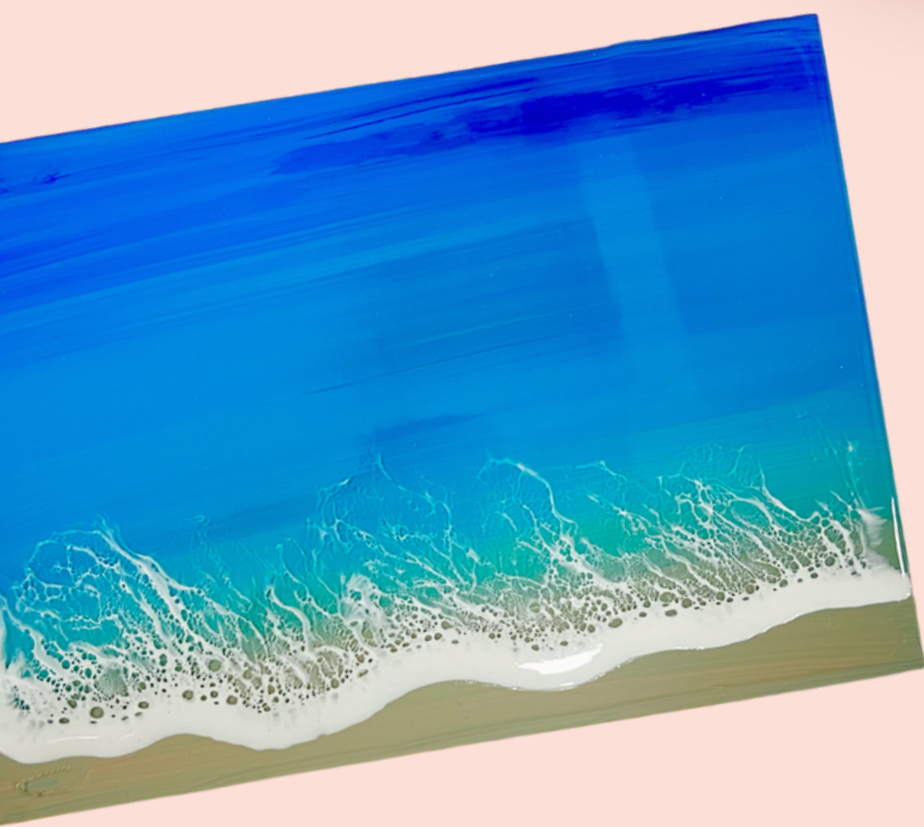


海 SEAプレート ～2技法作り方～



エポキシレジンとは？

エポキシレジンとは「主剤」と「硬化剤」の2液を混ぜて
化学反応により硬化させる樹脂のこと

-----※硬化不良を防ぐ※-----

注意点①

比率を間違えない



注意点②

よく混ぜる



※取り扱う際※



★3種類のレジン★

波専用レジン



混合比

2:1

主剤 硬化剤

硬化時間 25℃ 2日間

適応作品 波アート等
の薄い作品

クリスタルモールドレジン



混合比

3:1

主剤 硬化剤

硬化時間 23℃ 3日間

適応作品 トレーやキューブ等
の分厚い作品

コーティングレジン



混合比

2:1

主剤 硬化剤

硬化時間 23℃ 2日間

使用用途 作品の
コーティング

用意するもの



材料

■波専用レジン ■シュプリームホワイト ■Cell Add ■板(B5)

■アクリル絵の具

(対面レッスン: 砂浜1色・海色3色までOK/エポキシアートキット: 砂浜1色・海色2色在中)

■コピックインク

(対面レッスン限定: 1日で制作する場合 使用)

道具

☐電子スケール ☐ヒートガン ☐非接触型温度計 ☐ガストーチ ☐はさみ ☐筆 ☐バケツ
☐スポイト ☐ビニール手袋 ☐紙コップ(150ml・60ml) ☐混ぜ棒(太・細) ☐カバー箱
☐マスキングテープ or (対面レッスンで複雑な形の板に変更の場合) Resin off+布

★作り方★

対面レッスン: 1日仕上げ

エポキシアートキット: 2日仕上げ

★マニュアルには両方のコツを記載しています★



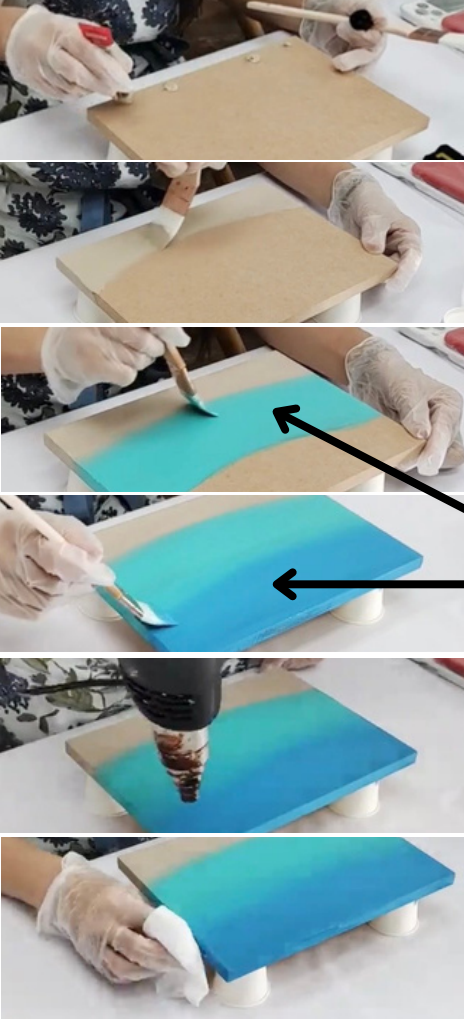
①板の裏にマスキングテープを貼る

流したレジンが裏面に付かない様、マスキングテープを貼る。

※エポキシアートキットに入っている板には既にマステ貼り済み

※対面レッスンの場合+¥1800でMDFのMサイズに変更可

(複雑な形の場合は、Resin off使用)



②板にアクリル絵の具で色を塗り、乾かす

1. 板の下に紙コップを置き、板を浮かせる
※机が平行であることや、板ががたつかないかを確認
2. 絵の具を塗る（砂浜→浅瀬→沖合の順）
※水の量は多すぎ注意！筆に染みこませるくらい
※砂浜部分は気持ち広めに塗っておくのがおすすめ
※波打ち際の形を考えて塗る
※板の側面も忘れずに
3. グラデーションをかける
1色目と2色目が塗れたら、境目をぼかす
2色目と3色目が塗れたら、境目をぼかす の順
※ぼかす時は絵の具を足さない
※途中で筆は表裏ひっくり返さない
4. 絵の具を完全に乾かす(ヒートガンを使用し時短)
※低温で！風が熱すぎたり、板に近すぎると気泡が発生するため
※側面もしっかり乾かす
※ティッシュを軽く当てて、乾いているか確認
5. 裏面に絵の具が溜まりやすいので、ティッシュでぬぐう

③～⑥は2日仕上げのみ、1日仕上げは⑦にスキップ

2日仕上げ：ヒケ防止のため、板をレジンでコーティングする方法



③レジンを混ぜる

主剤2：硬化剤1の割合で**波専用レジン**を混ぜる。
レジン使用量90gの場合(主剤60g:硬化剤30g)
気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる。



④レジンの粘度をつける

【粘度をつける理由】

サラサラの状態では板に流すと、板にレジンが染み込み
端のレジンが吸われてなくなってしまうため

※はちみつの緩いくらいのとろみになったら、次の工程へ
※時間を置きすぎると硬化するので注意



⑤粘度を確認し、板にレジンを流し込む

レジンを板に流し、棒や指で塗り広げる。側面も忘れずに。
※レジンが温かいと感じたら、素早く作業する
※気泡があれば、トーチで消す

⑥カバーをして硬化を待つ

※波専用レジン約2日で完全硬化するが、ここではある程度固まっていれば、次の工程へ進んでOK



⑦レジン进行混ぜる

主剂2：硬化剂1の割合で波専用レジン进行混ぜる。

レジン使用量90gの場合(主剂60g:硬化剂30g)

気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる。



⑧レジン进行粘度をつける

硬化熱でレジン温度が40～45度くらいになるまで放置する。

※寒いとレジン进行硬化は遅く、暑いと硬化が早い

※目安：室温25度で15分～20分程度

化学反応が遅い時(気温が低い)はヒートガンでレジン进行温める。

その場合、使用したい温度より3度くらい低い温度に温めて、

1～2分後に計測。温度が基準に入ったら次の工程へ。



⑨白波用レジン进行取り分けて着色

紙コップに10g(白波用)进行取り分け、シュプリームホワイト(大豆1個分くらい)进行混ぜる。

※色味の見方：カップに入っただけだと濃く見えるので混ぜ棒でレジン进行すくい、棒上のレジンや垂れるレジン进行の色を見る

⑩は1日仕上げのみ、2日仕上げは⑪にスキップ



⑩透明レジンにコピックインク进行混ぜる

※ここでの色付けはレジン进行の収縮による波崩れ进行軽減させるため

※ほんのり色がつくくらいでOK

※コピックインクは色によって変色するので色選び注意

※(対面レッスン限定)ラメ进行レジンに混ぜてもOK



⑪粘度を確認し、板に海用レジン进行流し込む

海用レジン进行板に流し、棒や指でレジン进行広げ隙間进行埋める。波打ち際进行形も決める。側面も忘れずに。

※レジンが緩いと波打ち際が手前に流れてきてしまうので粘度に注意



⑫粘度を確認し、白レジンにCell Add进行混ぜる

白レジン进行流す直前にCell Addをスポイトで入れて混ぜる。

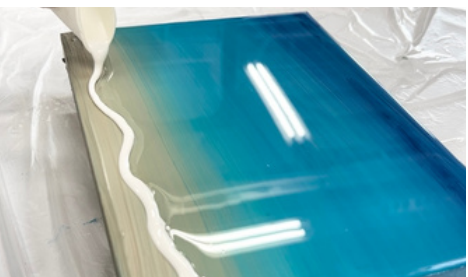
Point：Cell Addが揮発する際、波の網目模様进行作る手助けをする

※レジンが緩い場合は少し待ち、粘度がついてからCell Add添加

※10gに対して4～6滴（Cell Addの量は目安）

※粘度を高めたレジンがサラサラに戻らぬよう添加量注意

※Cell Add揮発性が高いため、蓋はしっかりと閉める



⑬白レジン进行波打ち際のフチに流す

海用レジンと板の両方に被るように白レジンで一本線を描く。

※白レジンと海用レジン之间に隙間が出来ない様に流し、隙間が

できた場合は混ぜ棒などで埋める

※線幅は0.5cm～1cm程度（細いと波の範囲は狭く、太いと広くなる）



⑭ヒートガンで波を広げる

“**高温/弱風**”で白レジンの上を3往復当て、海用レジンと白レジンを馴染ませる。

“**高温/強風**”でヒートガンを左右に振りながら風を当てる。

※白レジンが海用レジンの上に、薄く膜を張るようなイメージで

※1ヵ所だけに風が当たり続けられない様に注意(凹み戻らなくなる)

※基本1回勝負！何度も風を当てると波の網目模様は崩れる

※(状況に応じて)剥げた部分に白レジンを足す

白レジンが硬くなった場合はヒートガンで温めると緩む

※白レジンを足した後はヒートガンを当てない(波が崩れるため)



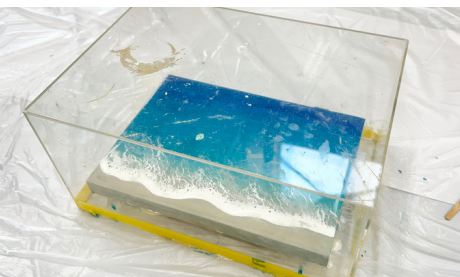
⑮ガストーチもしくはバーナーで気泡を飛ばす

1点に集中して当てると焦げてしまうため、左右に振りながら流すように当てる。

※火を当てるのは沖合(奥側)の部分だけがおすすめ

➡波側に当てると波が崩れる恐れあり

※(対面レッスン限定)ラメを振りたい場合は気泡を取った後に振る



⑯約2日間硬化を待つ

硬化中にホコリがつかないように箱などでカバーをする。



⑰完全硬化後にレジンを剥がす

【マスキングの剥がし方】

ヒートガンなどでテープを温めながらゆっくり剥がし、

レジンが分厚く垂れている部分はカッターで切れ込みを入れて剥がす。

【Resin offの場合のレジンの取り方】

ヘラのようなものでレジンを剥がす。

※ヒートガンなどでレジンを温めると更に取れやすい

※レジン痕が残った場合はヤスリで削る



海SEAプレート完成！



※こちらのテキストを無断で複製し第三者に開示することを禁じます

※レッスンの内容は予告なく変更になる場合がございます

※レッスンで使用していない材料を使用したアレンジ品等のご質問はお控え下さい

エポキシアート協会の情報は
各SNSからご確認頂けます⇒



LINE



Instagram

ハンドメイド素材の店

～ハンドメイドで使用する材料を豊富に揃えています～



オリジナル材料
その他材料の購入はこちら⇒



Mstore